

侵入防止柵及び捕獲によるイノシシの被害防止対策

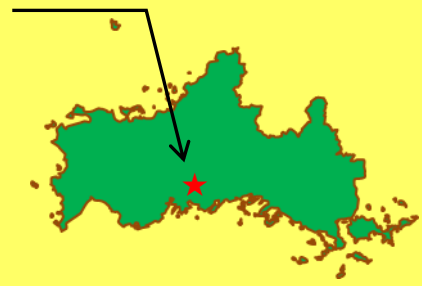
1 要旨

イノシシが頻繁に出没し、農作物への被害が増加、生活環境にも影響が出てきたことから、イノシシの侵入防止柵の設置及び地元猟友会と連携した捕獲箱をなを設置することで、農作物の被害軽減に取り組んだ。また、侵入防止柵の見回り、点検活動により、柵の維持管理を行った。その結果、イノシシによる農作物被害は減少した。しかし、用水路からのイノシシ侵入が問題となったことから、県農林総合技術センターによる「水路からの侵入防止技術の実証試験」に取り組んだ。

2 地区の概要

地区名	防府市大字切畑上の庄地区
戸数	42戸（うち農家36戸）
耕作面積	田16ha、畑3ha
主な作物	水稻、麦、野菜
加害獣種	イノシシ
対策実施年度	令和元年度

防府市大字切畑上の庄地区



3 被害の状況と課題

- イノシシによる水稻をはじめとした農作物及び田畑の掘り起こし等の被害が発生している。
- 地区住民の居住区域にも出没し、生活環境においても被害が発生している。
- 住民からイノシシの被害防止対策に早急に取り組む必要があると声が上がった。

4 取組内容

(1) 周辺環境の調査及び整備

集落内農地の状況とイノシシ被害状況を調査し、緩衝帯の設置・管理や放任果樹・野菜くずの廃棄をしないように集落で徹底した。

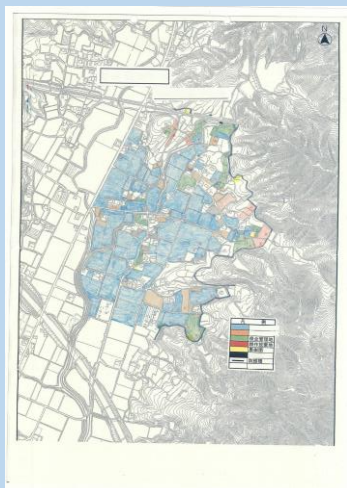
(2) 防護・捕獲活動

イノシシの侵入を防ぐため、侵入防止柵を設置し、柵の点検・見回り活動を実施し、柵の維持管理を行った。また猟友会による捕獲活動を実施した。

(3) 県農林総合技術センターとの連携

用水路からのイノシシ侵入を防止するため、県農林総合技術センターと連携し、「水路からの侵入防止技術の実証試験」に取り組んだ。

【集落環境調査】



【水路の侵入防止技術の実証】

(チェーン型侵入防止柵)



5 取組の成果

○侵入防止柵の設置により、地区内の農作物の被害は減少し、生活環境が改善した。

【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	450	200	▲250	200	▲250	—	—

6 地区代表者のコメント

侵入防止柵の設置効果が現れているものの、柵の内側を棲み処にしたイノシシと用水路や未設置地区から回り込んで侵入するイノシシがいる。

そのため、各種対策を継続的に行っていく必要がある。

7 今後の取組

引き続き、侵入防止柵の設置効果が維持できるよう、柵の見回りを実施するとともに耕作放棄地の整備を行う。また、県農林総合技術センター及び猟友会との相互連携に努める。